

吾輩は会報である。  
名前がついた。



ほっ カイロ  
北-Chiro

Vol. 2 [2009年9月号]

日本カイロプラクティック師協会(JSC)北陸支部  
北陸カイロプラクティック師協会

## ■自己紹介……新開秀樹

今年度から何故だか解りませんが学術担当になりました新開秀樹です。私がカイロプラクティックを勉強しはじめたきっかけは、突然届いた高橋克典先生からの手紙でした。その手紙にはカイロプラクティックを勉強しませんがという内容が書かれてありました。



当時の私は開業して2、3年目ぐらいで自分の知識不足や治療方法に行き詰まっていた何か勉強して自分のスキルを上げたいと思っていた時期でしたので、これはいいチャンスだと思い北陸カイロプラクティック同友会で勉強することにしました。同友会では基礎課程を2年、臨床課程を2年勉強し、いろいろな知識や治療方法を教わりました。しかし頭の悪い私は一度で覚える事ができず今でも時間が空いていれば基礎課程、臨床課程に関係なく顔を出して勉強させてもらっています。



勉強を始めて早くも11年と月日ばかりがたちましたが、最近思うのが基礎の大切さです。何事においても基礎が出来ていないと応用につながっていかないと。特に触診やモーションパルペーション、筋力検査などは本で勉強しても身につかず、実際に触ったり、動かしたりして練習しないと身につけません。

そこで学術担当の立場としては前回の創刊号にも書きましたがみんなで集まってモーションパルペーションや筋力検査などを練習できる機会があればと考えています。これからも皆さんと一緒に勉強したいと思いますのでよろしくお願いします。

## 【インタビュー】

Q1.出身校は？

柔整:東北柔道専門学校  
カイロ:北陸カイロプラクティック同友会

Q2.治療歴は？

柔整:平成3年からで今年で19年目  
(開業して14年目)  
カイロ:勉強し始めて今年で11年目

Q3.治療院名は？

新開接骨院

Q4.得意技は？

出不精

Q5.好きな女優・歌手は？

DREAMS COME TRUE



Q6.最近、感動した事は？

551 蓬莱の豚まん



Q7.世の中で一番好きなもの(こと)は？

食べたり、飲んだりすること

Q8.愛読書は？

忘れたころに送ってくるカイロジャーナル

Q9.座右の銘は？

一期一会

Q10.将来の夢(またはビジョン)は？

患者さんに喜んでもらえる治療が出来るようになる



## ■自己紹介……井田栄二

はじめまして、井田栄二です。

昨年の高波被害で全国的に報道されました富山県下新川郡入善町で接骨院を営んでおります。その折は皆様方より温かいご配慮頂き深く感謝申し上げます。

家族構成は、妻(柔整師)、子供 4 人で長女(看護師)、次女(柔整師)、長男(柔整大学 4 年生)、次男(高校 1 年生)です



さて、私とカイロプラクティックの出会いとは 20 年前(1989 年)になります。当時は接骨院を開業してそれなりに経営的に安定していましたが、日常臨床の中で患者さんの多様な症状に対応する為の『手技』が未熟だと痛感していました。幸いにも当事のJCAカイロプラクティック学院と出会い、自宅学習、実習、小テスト等、非常に苦闘しましたが、同期の宮崎るみ先生、中村清先生と共に二年間カイロプラクティックの基本から勉強でき、当事のご指導頂いた講師の先生方にも深く感謝申し上げます。



学院終了後、その総仕上げともいべきクリニカルコースが 1991 年(平成 3 年)4 月後半から 5 月の始めのゴールデンウィーク期間中にカレッジタウン八王子で一週間実施され、毎日朝 9 から深夜 0 時までハードスケジュールでびっしり勉強したこと、また講義の疲れもものともせず他の支部の先生方と連日の飲み会で盛り上がっていたことが思い出されます。…若かったんですね…。



当時から高橋克典先生も本コースで講師を務めておられました。同年から臨床カイロ講座(基礎科・応用科)を受講し故・角野先生のすばらしい講義を経験できました。大阪池田学舎で毎回受講ごとに、当事の私にとって目新しいことばかりで本当に感動の一言でした。1994 年(平成 6 年)に再受講し 1997 年 1 月(平成 9 年)臨床カイロ講座が終了しました。カイロの奥深い魅力も体験し、勉強の方向づけにもなりました。

終了後、『これからだ』という時に 1997 年 4 月不運にも(?) 社団法人富山県柔道整復師会の役職理事を命じられ、少しずつ柔整の役職が多忙になりカイロプラクティックの勉強会とは疎遠になりました。

このようにこの 10 年余りはご無沙汰をしていましたが、過日の平成 21 年度総会並びに懇親会に久しぶりに参加させていただき誠に有難うございました。

終わりに実際の臨床では全く上達しておりませんが、今後ともカイロプラクティックの勉強をしたいと思っていますので宜しくお願いします。

### 【インタビュー】

Q1.出身校は?

柔 整:北信越柔整専門学校  
カイロ:JCAカイロプラクティック学院

Q2.治療院名は?

井田接骨院(入善町)

Q3.治療歴は？

柔 整:1981年9月開業して28年

カイロ:1989年

JCAカイロプラクティック学院

に入学して20年

(尚、実際の臨床では全く上達しておりません)

Q4.得意技は？

八方美人か・・・

Q5.好きな女優・歌手は？

上戸 彩



Q6.最近、感動した事は？

昨年の高波被害時の皆さんの  
温かいお気持ちとボランティア活動

Q7.世の中で一番好きなもの(こと)は？

ささやかなお昼寝タイム



Q8.愛読書は？

最近、活字離れです。

カイロ関係では臨床カイロ講座  
のテキストノートが宝物です



Q9.座右の銘は？

子供達には『文武両道』と言っています

Q10.将来の夢(またはビジョン)は？

長男に頑張ってもらい私は半隠居生活。  
来年3月で長男が柔整大学を卒業予定  
ですが、もう一人高校1年生の次男が  
将来大学進学希望。もう少し稼がねば・・・。  
子供達の大学費用仕送りから早く解放  
されたい。

■平成21年度JSC北陸支部セミナー報告

●鈴木明弘先生をお招きして・・・中川佳親(JSC北陸支部長)

期待以上の素晴らしいセミナーでした。

偶然にも、セミナーの前日に私の所に新規の患者さんの治療の依頼がありました。

私も患者さんとは初対面で、その時は症状のみを聞きました。この方は、症状がとても複雑で、鈴木先生なら、どのような治療の組み立てをされるのか？大変興味が湧き、患者さんの了承を得て、セミナー当日に鈴木先生の治療のモデルとして来ていただきました。

鈴木先生の治療の流れは、我々が行っている方法にさほどの変わりがないのですが、患者さんとのコミュニケーションの取り方が実に上手なのです。言葉の話しかけや、患者さんを安心させる説明と的確な指導、そして患者自身を自分の手中に引き込む無駄のないテクニックはさすがだと感心しました。

つまり、患者さんに「この先生にまかせれば、絶対に大丈夫だ」と信頼させることが出来るか、出来ないかで今後の治療が変わってくるくらい、コミュニケーションの大切さを目の当たりにしました。あとは患者さん自身の治療モードにスイッチを入れればいいわけです。今回、問診～検査、手技、指示や注意に至るまでを、体験出来るセミナーは大変良かったと思います。

今回、参加できなかった先生も次回は必ずご参加ください。

## ●北陸支部セミナーレポート……藤岡敦己

北陸支部では6月27日(土)～28日(日)、鈴木明弘先生を講師にお迎えしセミナーを開催しました。テーマは「初診の患者に対して確実に結果を出す方法」で、ポイントは検証を繰り返して、まず骨盤、胸郭、協調運動の3つを正常化させる。これが出来れば90%は治ったも同然で、後は二次的な障害を取り除けば完了となる。

診断の指標として筋力を評価する。「圧をかけますから、それに抵抗してください」と言って負荷をかけ、最初のロックが出来るのをγ1、それから更に抵抗できるのがγ2で、それぞれが正常である事を目指す。

**臨床例** 患者は50歳の音楽教諭。

### 【主訴】

歩行時の右膝痛と左足関節痛。

### 【現病歴】

2週間前に全力で500mを走って、2、3日してから右膝に痛みを感じるようになってきた。それをかばっていたせいか足関節も痛みが出てきた。以前から背中から腰が常に張っている。

### 【臨床所見】

FFD-20cm、SLR両側ハムスト短縮(L<R)、筋力検査は両側ハムストγ1、γ2低下。右前方寛骨、左後方寛骨。右大腿四頭筋硬縮、右縫工筋硬縮、右足底硬縮。  
両側第一肋骨可動性減少。胸郭後方から前方への可動性減少。胸郭知覚過敏。

### 【仮想診断】

両ハムスト、右大腿四頭筋、右縫工筋の短縮によって膝関節間隙は狭小化し膝に痛みを発生させる可能性あり。両ハムストの筋力低下から、運動時の関節後面の支持力低下。そのため筋疲労により乳酸の蓄積から交感神経刺激が起こり細動脈の収縮に伴う毛細血管の収縮、静脈・リンパ管からの排泄が制限され筋硬縮が起こり短縮状態になる可能性あり。

右大腿四頭筋硬縮から右前方寛骨・左後方寛骨。仙腸関節からの侵害刺激により筋肉に抑制。

右足底(短趾屈筋)硬縮から腓腹筋硬縮、ハムスト硬縮となり膝関節は屈曲し、さらに股関節も屈曲し、それにより大腿四頭筋は収縮し前方寛骨となる。

### 【治療・検証】

ブロッキングで右前方寛骨・左後方寛骨を整えるとハムストの筋力が改善。

右短趾屈筋を処理すると右大腿四頭筋弛緩。大腿四頭筋、ハムスト、腓腹筋の硬縮を処理し

静脈・リンパ・筋膜の状態を整えると膝の痛みは消失した。

#### 【仮想診断2および治療・検証】

胸部の可動性の制限と知覚過敏はほとんど残っている事から、下肢の影響ではない。

胸部の可動性の制限や知覚過敏は、身体下部が不安定な状況があれば上部で補正する二次的な障害であるかもしれない。

横隔膜の緊張処理で胸部の可動性回復と知覚閾値アップ。

#### 【仮想診断3および治療・検証】

横隔膜の緊張は呼吸の環境によるものではないか。呼吸の環境は行動のための協調運動と関係があるのではないか。行動は、自律神経が関係しているので、自律神経の乱れがあるのではないか。

左右交差パターンの協調運動低下。錐体外路系は前頭葉・頭頂葉・側頭葉・後頭葉から神経が出ていますのでTLで抑制部位を確認すると前頭部で陽性。前頭部に40℃のお湯で刺激すると協調運動は正常化した。

自律神経を乱すようなことがないかを質問すると1年半前にやめたタバコを1ヶ月前から始めた。コーヒーを1日に5～6杯飲んでいるとのこと。砂糖を接触させると筋力に抑制がかかる。副腎を処理。

#### 【結果および考察】

靴がゆるいため慢性的に靴底を押さえながら歩いたり走ったりし、右短趾屈筋硬縮→大腿四頭筋硬縮→右前方寛骨・左後方寛骨となった。

副交感神経の刺激で交差パターンの協調運動が正常になったということから交感神経の過剰興奮が引き金になっていたと考えられる。交感神経の過剰興奮から逃避行動の反応として錐体外路系を通して交差パターンの協調運動に抑制がかかり、大腰筋の筋力が低下し横隔膜に影響が生じた。行動抑制をかける事で、下肢の不安定さを招き仙腸関節の閾値が下がり、下肢の筋肉の働きを抑制し、膝の関節に侵害刺激が入ることで痛みが発生した。コーヒーが糖代謝を乱し、自律神経のリズムが崩れ、タバコも交感神経の興奮を招く要因の1つになっていたという結論になる。

一般に膝関節炎の患者はすべて画像で診断されるが、画像には器質的な情報しかなく、機能的な情報は存在していない。機能的な情報がないまま、痛みが存在する中で、筋力が弱いために筋力トレーニングを勧める事が多いが、抑制による筋力低下の場合、筋力トレーニングは状態を悪化させてしまう。

【デモンストレーション】右アキレス腱断裂4週間後に対するアプローチ。

【実習】ペアを組んで、問診、検査、施術・検証を行った。



【感想】鈴木先生は、まずカイロ適応か否かを判断し、適応と判断した患者に対しては約95%の人は改善させる事ができるとのことでした。骨盤・胸部・協調運動を整える事で90%は治ったも同然という臨床実績は、様々な症状の患者が来院されてもあわてる事はない、必ず改善させる事が出来るという自信につながると思います。そのために筋力検査の精度を上げ、解剖・生理学をさらに充実させていこうと思っています。

#### ●北陸支部セミナーの内容を試してみよう(症例報告)……山田隆司

【患者】 14歳、男性、中学3年生、身長:168cm、体重:67kg

【主訴】 両側の脛骨粗面痛(オスグッド・シュラッター病)

【発症日】 平成18年、小学6年生

【初診日】 平成21年7月11日

#### 【来院までの経過】

平成20年10月、11月と2軒の整形外科を受診。2軒ともオスグッド・シュラッター病と診断され、塗布剤、鎮痛剤を処方される。しばらく投薬を続けたが変化なし。2軒目の整形外科で手術を勧められたが、悩みながらも運動を続けていた。6月に部活動は引退したが、痛みがあるため来院する。

【運動】 野球(ポジション:キャッチャー、小学校～中学校)

【既往症】 アレルギー(花粉症)

【所見】 左右脛骨粗面部の圧痛(右++、左+)、右膝関節屈曲痛(脛骨粗面)、  
階段昇降痛(右)

【検査】MMT…右大腿直筋↓、右大腿四頭筋↓

骨盤…LPIN、RAIN、LAI-S

左右大腿四頭筋の圧痛

右大腿前面の知覚鈍麻

右横隔膜緊張

右胸郭緊張

【7/11】 ・ブロックにて骨盤の矯正→右大腿直筋↑、右大腿四頭筋↑、

・右横隔膜、右腋(第3・4肋骨あたり)の緊張をリリース(胸筋、大腿四頭筋をモニター)

・RR 同側パターン↓→右側頭部の緊張をリリース→RR 同側パターン↑

⇒左右脛骨粗面部の圧痛なし、右膝関節屈曲痛なし、大腿前面の知覚鈍麻残る

【7/17】 ・右大腿四頭筋↑、大腿前面の知覚鈍麻あり

・骨盤、胸郭の緊張をリリース→大腿前面の知覚鈍麻なし

### 【考察】

緊張している状態が続くと、緊張による不快を麻痺させる必要があったと思われる。それが大腿前面にも現れていた。

緊張、知覚鈍麻の中では、からだは硬くなる必要があり、硬い大腿四頭筋が脛骨粗面にストレスをかけ続けたと思われる。

### ■JSC九州支部と名古屋カイロクラブで講演……高橋克典

平成21年7月18・19日、福岡県福岡市の電気ビルにて、JSC九州支部の招きを受けて講演してきました。テーマは昨年1月に北陸でもしました「膜系から診た運動器疾患の評価」、その後1年以上経過し、更に改良しバージョンアップした内容でお話してきました。

17日は早く診療を終わり、以前は富山空港からの便があり便利でしたが廃止されたため小松空港より福岡へ向かいました。福岡空港では荒木寛志先生の迎えを受け、ホテルへチェックイン。早々西村幸雄先生も駆けつけて頂き、3人で博多の居酒屋で大いに飲んで大いに語り、明日からのセミナーの燃料補給ができました。

18日はお昼過ぎまで時間があつたので、観光に案内していただ





きました。ちょうど国立博物館で阿修羅展がやっていると言うことで出かけてみましたが、駐車場はいっぱいで入場も長時間待ちと言うことで、ドライブをして福岡ドームへ行き、JAL ホテルで昼食をとってホテルへと戻りました。夕刻、ホテルの向かいのセミナー会場に行くと



三々五々受講者の皆さんも集まってきて、参加者は 30 名あまりのこと。顔見知りの先生方と談笑し、いよいよ開講。一通りスライドで説明し、受講者に信用してもらおうとデモ治療を 2〜3 名行いました。お陰様で恥をかくこともなく結果を出せデモ治療も成功し、受講者の皆さんに信じていただけることができました。初日のセミナーも無事終わり、受講者の皆さんと近くの居酒屋で懇親会。美味しい食事にお酒もすすみ、カイロ昔話や雑談にと博多の夜を満喫し、ホテルに戻っては部屋で 4 時過ぎまでカイロ談義にミニセミナー、時間の経つのも忘れ外が明るくなってきてから仮眠して 2 日目が始まる時間となりました。

19 日、寝不足、飲み過ぎではあったが、意外と爽やかに朝を迎えました。今日はお互いにペアを組み実技の練習をして感覚を身に付けてもらい、少しでも結果が出せるようにと練習を繰り返しました。夕刻、あっと言う間に 2 日間のセミナーも無事終了。荒木先生に福岡空港に送って頂き、帰途に着きました。

九州支部のセミナーに引き続き、8 月 8・9 日には、名古屋カイロブラクティッククラブ (NCC) の招きを受けて、同じ内容で講演してきました。

8 日朝、特急しらすぎで名古屋へ。駅では川島秀俊先生の迎を受け、昼食を摂り川島先生のオフィスを見学させてもらい、会場の蒲郡市三谷温泉・ホテル海陽閣にある熊谷接骨院へと向かいました。熊谷オフィスは温泉ホテルの 1 室を利用して、外来患者に泊まり客の治療もしています。受講者は 15 名あまりで懐かしい山下幹雄先生や一柳実先生にもお会いすることができました。



午後 2 時から講義を始め、スライドの説明とデモ治療をして午後 5 時に 1 日目の講演を終了。宴会・宿泊の平野屋へ移動し、温泉で汗を流し、6 時半より懇親会。美味しい料理に舌鼓を打ち、大いに飲んで大いに話ることができました。二次会はスナックでカラオケ三昧。東海の皆さんの美声に圧倒されながらも私も久しぶりにカラオケを楽しませてもらいました。三次会はラーメン屋で仕上げ。部屋に戻ってオーシャンビューの部屋から夜景を眺め、空が白んでくるまで飲み明かしました。

9 日、目覚まし入浴の後、バイキング朝食。エネルギーを供給して 2 日目の講演のスタート。昨日の復習の後、お互いにペアを組んで実技の練習を繰り返しました。午後 4 時講義も無事終了。あっと言う間の 2 日間でした。

九州も東海の皆さんもとても積極的に情熱的にカイロに取り組んでいる姿を拝見し、私も大いにエネルギーを充電することができました。北陸ももっともっと負けじと活性化しなければならないと心より思ったセミナーでした。

## ■第12回 日本カイロプラクティック・セミナー in 名古屋

JSC本部主催のセミナーが名古屋で行われます。色々な考え方に触れるチャンスです。たくさんの方の仲間に会って親睦を深めたり、刺激を受けるのも楽しいものです。時間を作ってみんなで参加しませんか。

【日 時】平成21年11月7・8日(土日)

【会 場】愛知県労働産業センター

【講 師】小田伸午先生(京都大学大学院教授):「常歩(なみあし)と身体機能について」

中原裕幸 D.C.(JSC北海道支部長):「続・臨床における検査と治療のポイント」

千葉英士先生(JSC会長):「頭蓋骨からの触診や操作」

荒木寛志先生(JSC副会長):「禁忌症講座-腱反射の診方を中心に」

【問合せ・申込みは】中川支部長・高橋克典本部理事・藤岡代議員まで \(\circ)/

昨年度の中原 D.C.の内容はすごかった。腕が挙がらないという症状に対して、座位にさせハンカチを1枚お尻の下に敷くと「あら。挙がった！」

帰ってさっそく患者さんに試すと・・・患者さんもビックリ。感動感動！

今も使わせてもらってます(ふ)。今年は、どんな内容になるか楽しみです。

## ■勉強会

●富山例会 第2、第4金曜日22時～ 高橋カイロプラクティック全盛堂にて

●黒部例会 第3金曜日21時～ みやざき接骨院にて

●金沢例会 勤労者プラザにて (問合せ:高橋克典)

## ■編集後記

中川支部長も書かれているように北陸支部セミナーは大評判でした。たいへんわかりやすく、また良い結果も出ているようです。セミナーや勉強会、会報を通じてお互いを高めていけることは素晴らしい事だと思います。お世話や原稿を快く引き受けてくださった先生方に感謝します。

### 北-Chiro 編集委員(広報担当)

#### ・高橋登

〒930-0138 富山市呉羽6068-3 高橋接骨院

【電 話】076-434-4611

【Eメール】 ntakahas@poppy.ocn.ne.jp

#### ・藤岡敦己

〒939-8074 富山市大町南台1-1 快癒館

【電 話】076-493-6654

【Eメール】 e-mail@kaiyukan.info